

教育プログラム

倫理事例検討会（JNA ラダーⅣ以上）

臨床における臨床的感性を高め、倫理的諸問題解決のための知識・技術を習得し、看護実践能力の向上をはかることを目的としている研修です。参加資格としては、JNA ラダーⅣ以上のスタッフとなります。学びのプロセスとして、e-learning で看護倫理の基礎編・中級編、医療倫理の応用編を受講し講義に参加します。研修では4回のグループワークで、倫理事例に対するジレンマや一つ一つの理由についてディスカッションが十分にできること、患者や家族へのケア、看護としてどのようなケアが出来るか検討できるようにしていきます。倫理問題を検討するツールとして4分割用紙を活用します。倫理には、正解、不正解はなく、間違いはないので個人が感じたことを自由に発言し、疑問に感じたことを言語化していきます。ニュアンスで通じていると考えられるような言葉や文脈もあえて丁寧に意図的に言葉にしていきます。倫理問題の検討ではなく、事例検討として考え、結論が正しいか間違いか検討するのではなく、結論に至った経緯を検討していきます。検討は、関係する人々の価値の明確化、価値の背景を考えると共に倫理原則に則り検討をしていきます。命をあずかる臨床現場では、常に倫理的な視点が必要で、日頃から問題の存在に気付く感性が必要となります。

倫理事例検討会

2021年7月14日(水)
看護部アドバンス2委員会

倫理事例検討会を行うにあたり

【目的】
臨床における倫理的感性を高め、倫理的諸問題解決のための知識・技術を習得し、看護実践能力の向上をはかる

【目標】
1) 倫理原則、臨床倫理についての知識を習得する
2) 自己の抱えている倫理的葛藤を明らかにし、解決方法を導くことができる
3) 自セッションでの倫理事例検討会に参画できる

問題

Q あなたが通っているところ、血を渡した人が倒れていました。あつたを渡しましたが、その人の近くにはあなたしかいません。あなたはどうしますか？

A ① すぐ駆けつけて救護する
② ひとまず119番に通報する
③ 一人ではどうしたら良いかわからないので、誰かが通りすぎるのを待つ
④ 怖いので、置なかつたこととして通りすぎる

日本看護協会

グループワークでは、事例検討の時間の中で事例検討だけではなく、事例検討を実施しての気づきや感想、学びなどを自由に語り、グループ内で共有していきます。司会やグループメンバーとしての役割りの中からの気づきも共有していきます。グループワークを通して、解決の方策を訓練し、部署での倫理事例検討会を企画、開催していきます。倫理事例検討会で学んだことや部署の倫理事例検討会の内容を報告し、1年間をかけて倫理的問題解決のための知識、技術を習得していきます。自己の抱えている倫理的葛藤を明らかにして、解決方法を導き、倫理事例検討会に

参画できる力をつけていく研修となります。